

【終了報告】第三支部研修「京の伝統産業を学ぶ@京都伝統産業ミュージアム」

2021年11月20日（土）13:30～16:30

11月20日（土）、第三支部研修「京の伝統産業を学ぶ@京都伝統産業ミュージアム」を実施いたしました。



当初8月に予定されていた当研修は、緊急事態宣言の発令によって急遽延期となり、三ヶ月遅れでの開催となりましたが、関西を中心に、東京からのご参加を含めて16名（会員9名、非会員5名、委員2名）が集まって、念願の対面研修を実施することができました。

前半の講義では、(株)京都産業振興センター伝統産業室長（京都伝統産業ミュージアム館長）八田誠治氏より、京都の伝統産業の歴史と現状について、永年にわたり、現場で関わってこられた八田室長ならではの貴重なお話を聞くことができました。また京都の伝統工芸に魅了され、京都市認定ガイドの資格を持つアナスタシア・ブルカヴェツさんからは、外国人の目線から見た京都の伝統産業の魅力、外国人に伝統工芸を案内する際に気をつけていることなどをお話頂きました。

後半は再び八田室長より、昨年3月にリニューアルされたミュージアムの見どころについてのお話のあと、京都市指定の伝統工芸品74品目全てが展示されている館内をご案内頂きました。リニューアル後、コンセプト（テーマ）毎に並べ替えられた展示は大変見やすく、またところどころ触れることができる展示などもあって、五感を使って楽しめるようになっていました。土日を中心に、職人さんの実演も引き続き行われており、これらを無料で見学できるのは、大変ありがたいことだと改めて実感しました。今回はミュージアムのご厚意で、特別企画展「SHOKUNIN Pass/Path」2022年1月23日まで）にも入場し、各工房で長年引き継がれてきた伝統工芸品の技と、その新しい挑戦をアートとして鑑賞することもできました。



2020年3月のリニューアル後、なかなかミュージアムを訪れる機会がなかったと思いますが、業務再開に向けて、京都に下見に来られる際には、是非お立ち寄り頂くことをお勧めいたします。

第三支部研修運営委員 飛田 奈々、奥西 佐智子